

ともえ



函館商工会議所
創立
100周年



箱館ハイカラ號

No. 163 函館商工会議所報
1995 — 5月号

のびゆく地元のお手伝い……

ゆたかな夢を大きく育てる。

みなさまの



函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本店	函館市豊川町15番20号	TEL 22-1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42-3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23-6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51-1711(代)
ばんたい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41-6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生町2丁目4番24号	TEL 73-2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL 52-0511(代)	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL 84-2111(代)
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL 26-3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL 65-2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51-5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2-3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57-1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5-5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53-5521(代)			

Lhくみのローン

手続カンタン
スピード融資

目的ローン

マイカーローン

ビジネス・オートローン

★詳しくは窓口へ
お問い合わせ下さい。



・コミュニティバンク・

函館商工信用組合

本店 函館市千歳町9の6 ☎(代)23-2101

- 湯川支店 ☎57-0572(代)
- 上磯支店 ☎73-2308(代)
- 美原支店 ☎46-9121(代)
- 十字街支店 ☎26-5544(代)
- 花園支店 ☎55-2110(代)
- 富岡支店 ☎43-1311(代)

今月の表紙／視点

会議所の動き

25

- ・道南商工会議所連絡協議会開催
- ・一〇〇周年記念事業の一つとして海外経済視察団派遣

- ・本所婦人会が一〇〇周年記念事業に寄付
- ・本所六部会を中心に合同講演会開催
- ・情報処理技術者試験の地元開催を要望

- ・函館―福島線再開・青森空港国際線就航
- ・国民珠算競技大会道南地区予選
- ・本年度も移動相談室を開設

データをチェック

6

調査レポート

6

地域の景況 金融経済概況 (三月)

11

- ・市内第一種大規模小売店舗売上高 (三月)
- ・函館地域の経済動向 平成六年年度 第四四半期
- ・海外旅行需要に関する住民意識アンケート調査結果

共済推進コーナー

12

誌上講演

13

- ・商人物語(5)下村彦右衛門

人を活かす(19) 機会損失について

14

ティータム

15

アドバイスコナー

16

- ・PL法で変わる企業経営(1)

Q & A

18

- ・みんなの相談室 税務相談
- ・労働相談

ご案内

20

- ・会員之章のご案内／ご入会ありがとう

- ・ございます／百周年記念特別企画のご案内／検定試験、各種相談のお知らせ

他

五稜郭祭特集

23



◇今月の表紙

本格的な観光シーズンにむけ、今年も四月から走り始めた箱館ハイカラ號。今年は五稜郭―西部地区を一日七往復している。九月三十日迄の運行。
写真提供・函館市交通局

視点



4月9日、知事、道議選挙、そして4月23日市議会選挙も終り、会員の皆様もそれぞれの思いがあることでしよう。

函館山の登山道路がいよいよ開通し、当市の観光シーズンが始まった。

会議所の窓から、バス駐車場を見ると平日でも20台以上のバスが止まっている。

おそらく修学旅行のバスだろう。今年は、阪神大震災、サリン事件そして急激な円高と観光にとって情勢は大変厳しい年だと云われている。

しかし、旅行雑誌の最新号では行つてみたいところ、再び行きたいところに「函館市」が上位にランクされている。

観光が与える地域の経済波及効果は、大変大きいものがある。来函した人をいかに温かく迎えるかが重要である。心な一一部の人のちよつとした行為が函館のイメージダウンにつながる危険性もあることを考えて行動してほしいものだ。

道南地域の懸案事項を討議

道南商工会議所連絡協議会開催

道南商工会議所連絡協議会（函館、森、伊達、室蘭、登別、苫小牧、浦河の七商工会議所で構成）の専務理事・事務局局長会議が、去る四月二十五日、室蘭商工会議所で開催され、第四十五回全道商工会議所大会（六月十三日札幌市で開催）への提建議案等について、

全道的立場からの問題とともに、各地で直面する諸問題について活発な討議が行われました。

なお、提出された議案については、北海道商工会議所連合会で調整し、来る五月十二日に開催される全道専務・局長会議で協議されることになりました。

本所からは、次の十六項目について提案がなされました。

- (1) 急激な円高に伴う中小企業対策の早期実施について
- (2) 補助対象職員人件費の地方交付税化に伴う財源の確保について
- (3) 政府系金融機関融資制度の貸付要件の緩和について
- (4) 北海道東北開発金融公庫の機能の拡充強化と本店の移転について
- (5) 小企業等経営改善資金融資制度に準じた特別貸付制度の創設について
- (6) 創業者支援融資制度の拡充と融資条件の緩和について

- (7) 地方都市における大型店等の郊外出店に対する適正指導について
- (8) 北海道新幹線の早期着工について
- (9) 丘珠空港の早期整備について
- (10) 函館空港の整備充実について
- (11) 函館港の整備促進について
- (12) ロシア極東地域との交流促進並びにウラジオストクとの定期航空路の開設について
- (13) 幹線道路の整備促進について
- (14) 青函インターブロック交流圏構想の推進について
- (15) 観光振興対策の推進について
- (16) 国立函館大学の設置について

100周年記念
事業の一つとして
海外経済視察団派遣

本所は、本年九月に創立一〇〇周年を迎え、各種の記念事業（三月号で既報）を実施しますが、その第一弾として来る五月二十六日から八日間、海外産業経済視察団を派遣するもので、松本会頭はじめ一行十四名が参加します。

これは、青函トンネル開通後の青函両市の交流状況を踏まえ、昨年、ユーロトンネル完成に伴う英

仏間鉄道開通で都市間交流の及ぼす経済効果を調査し、併せてロンドン・パリ両市の頭端駅や都市再開発の実情を視察する予定です。

本所婦人会が
100周年記念
事業に寄附

本所婦人会定時総会・懇親会が、去る四月十八日ホテル函館ロイヤルに於いて行われ、総会に引続き行われた懇親会の席上、神本会長より平原専務理事へ、本所一〇〇周年記念事業に対して七十万円が贈呈されました。



婦人会神本会長から目録が手渡される

官民一体となった港づくりへ 本所六部会を中心とした合同講演会開催

本所六合同部会並びに日本関税協会函館支部及び函館港湾振興会の三者共催による講演会が去る四月二十七日、ホテル函館ロイヤルで、本所議員等八十名が参加し開催されました。

当日は、函館市が抱えている重要課題の一つである函館港の港湾整備について、白藤函館税関長はじめ次の方々から講演がありました。

最初に函館市の熊田港湾部長より「函館港の整備について」と題し、港湾整備の基本方針、交流機能、緑地レクリエーション機能並びに物流機能の充実などについて説明がありました。

次に函館開発建設部教士港湾建設事務所長からは、「港湾整備の新しい方向」と題し、社会経済情勢の変化に対する港湾整備のこれまでの流れなどを踏まえて、運輸省港湾局、北海道開発局港湾部の

考え方について説明がありました。

この後、函館税関白藤税関長から「税関行政について」と題し、地域活性化のため道をはじめ関係団体との連絡協議会を設置し、通関業務の円滑化等の問題を協議す



講演する白藤税関長

ることやポートセールの重要性などについて説明がありました。

また、私見としながら、函館港のコンテナ輸送への対応や歴史的な観光資源が豊富で国際観光都市と云われているが、大型バースが未整備であることから外国船の入港が少ないなど今後の港湾整備に向けて提言もいくつかなされるなど、盛会裡のうちに終了しました。

情報処理技術者試験の 地元開催を要望

情報処理技術者試験の函館市での実施方について、去る四月十四日、本所沼崎副会頭並びに函館市岩船商工観光部長が通産局はじめ関係機関に対し、要望書を提出しました。

本試験は情報処理技術者の能力を資格認定するための国家試験として、春、秋、年二回実施されています。

近年の高度情報化社会の進展に伴い、情報処理技術者の養成が急務となっておりますが、当函館地域でも、産業界をはじめとする社

会ニーズに対応して、情報教育の充実が図られてきており、本試験の受験希望者は増加傾向にあります。しかし現時点では、函館近郊からの受験者は札幌市か青森市のいずれか遠隔地での試験場のため、費用、時間面で大きなハンディを負っています。潜在的な受験希望者の掘り起こしも含めて、教育機関及び情報産業界から地元開催への強い要望の声が挙がっていることから、今秋からの開催を目指し、要望したものです。

本年度会費等の振替口座日は 5月25日です。

本所では、平成7年度の会費・特別会費等を5月25日(木)にご指定の金融機関より口座振替させていただきますので、よろしくお振替申し上げます。

なお、口座振替の手続きをされていない事業所のつきましては、従来通り専用の振込用紙をご送付いたしますので、5月末日までにご納入下さい。

函館商工会議所

**青函空港の発展に向け前進！
函館 福島線再開・青森空港国際線就航**

◎福島～函館便、今年も期間を延長して運行

中日本エアラインの運行による福島～函館便が、昨年に続き今年も四月二十九日から半年間の予定で運行されます。福島～函館便については、昨年は三カ月の運行で約八千人の実績を残しており、函館と東北を結ぶ航空路線として今後の活用が期待されています。

◎函館空港国際化に続き、青森空港も国際空港としてスタート

函館とエジノサハリンスクを結ぶ国際定期便は、四月四日で一周年を迎えましたが、ツインシティである青森市でも四月二日にソウル便四月五日にハバロフスク便が開設され、国際空港としてスタートが切られました。就航記念式典には本所から小笠原副会頭・平原専務理事が出席し国際空港のオープニングを祝いました。

また、先に行われた青函圏委員会合同会議でも両空港の利用客確保のため相互に協力する事が確認されており、今後の両空港の発展が期待されています。

**今年ばん道南一は函館から
国民珠算競技大会予選**

去る四月二十三日、第四十九回国民珠算競技大会道南地区予選が、函館商工会議所、並びに苦小牧商工会議所の二会場で同時に開催され、三十一人の選手が、五月二十八日に、千葉県幕張メッセで開かれる中央大会への代表権をめぐり、日頃磨いた技を競い合いました。当日は、各種目で熱戦が展開され、その結果、榮譽ある「そろばん道南一」の座は、八木泰樹くん（桐花中）が勝取り、道南地区代表選手として中央大会への出場資格を獲得しました。

◎国民大会予選入賞者（函館分）
▼個人競技

一位／八木泰樹（桐花中）

**本年度も
移動相談室を開設**

本年度第一回の移動相談室が、去る四月十九日日本団体生命ビル三階会議室に於て開設しました。当日は金融相談を中心に、記帳に関する相談等があり、本所経営指導員二名が対応しました。

本所では五月以降も引続き、第三水曜日、前記会場にて午前九時三十分より午後四時三十分まで相談室を開設しますので、お気軽にご来室下さい。尚、上半期の開設日は次のとおりです。

五月十七日、六月二十一日、七月十九日、八月十六日、九月二十日

二位／平尾武志（函館高専）
三位／野田祐樹（教育大）
板谷弥生（森中）

▼団体の部

一位／桐花中学校
二位／本通中学校
三位／大中山中学校

また、同日、第二十七回全国小学生珠算競技大会も同時に開催され、二会場で六十二人が参加しました。

結果は次のとおりです。

◎小学生大会入賞者（函館分）
一位／高橋 桃（鷲ノ木小）
二位／澤田 剛（八雲小）
ニッ森敬浩（鷲ノ木小）
三位／布施佑一（駒場小）
工藤 純（鷲ノ木小）



真剣な表情の小供たち

事務局日誌

4月

* 正副会頭会議

- 11(火) 第14回正副会頭会議
- 28(金) 第15回正副会頭会議

* 部 会

- 27(木) 6 合同部会講演会

* 会議(道商連)

- 18(火) 平成6年度小規模補助金等実績報告審査会

* 会議(ブロック)

- 25(金) 道南商工会議所連絡協議会

* 審査会

- 24(月) 第1回小企業等経営改善資金審査会

* 諸 会 議

- 4(火) 本所婦人会役員会
- 5(水) 創立100周年記念事業産業展打合せ
- 7(金) 本所婦人会広報委員会
- 11(火) 北海道商工会議所婦人会連合会役員会
- 〃 箱館五稜郭祭協賛会理事会
- 〃 函館空港連絡協議会
- 14(金) 1995年度函館夜景の日実行委員会
- 17(月) みなみ北海道広域商工振興連絡協議会常任幹事会
- 〃 本所議員会三役会
- 18(火) 箱館五稜郭祭交通規制打合せ
- 〃 函内外情勢調査会函館支部懇談会
- 〃 '95はこごで花と緑のフェスティバル第3回実行委員会
- 〃 本所婦人会平成7年度定時総会
- 〃 所報「ともえ」編集会議
- 19(水) F M いるかとの打合せ
- 20(木) 札幌商工会議所とファクシミリサービスマネジメント打合せ
- 〃 渡島地方技能尊重運動推進協議会理事会
- 〃 平成7年度函館市中小企業融資制度説明会
- 〃 (仮)函館地域情報処理技術者試験推進連絡協議会設立発起人会
- 21(金) 函館市企画部との打合せ
- 24(月) 北海道自衛隊退職者雇用協議会函館支部定期総会
- 〃 本所、青色申告会、法人会事務局長懇談会
- 25(火) イトーヨーカ堂函館店の閉店時刻繰下げ、休業日数の削減に係る五者協議会
- 〃 函館空港運営推進委員会第4回総会
- 〃 第3回函館空港「空の日」実行委員会
- 〃 みなみ北海道地区観光土産品公正取引協議会平成7年度定時総会
- 26(水) 平成7年度第1回函館社会保険委員会、役員会
- 〃 本所婦人会役員会
- 〃 箱館五稜郭祭行列部会
- 28(金) 箱館五稜郭祭実行部会
- 〃 函館観光協会平成7年度第1回理事会

* 講習・催物

- 3(月) P L 保険法対策緊急特別講座
- 7(金) 労働保険年度更新相談(～4/28)
- 12(水) 経営相談
- 18(火) 決算と申告の説明会
- 19(水) 中小企業相談所移動相談室
- 20(木) 平成7年度汚染負荷量賦課金申告・納付説明会
- 28(金) 法律相談

* 刊 行 物

- 10(月) 所報「ともえ」4月号No.162

* 相談・診断

- 金融 53 税務 23 経理 3 経営 22
- 労働 5 取引 0 その他 3 合計 109

* 貸 室 12

* 文 書 受信 227 発信 19

* 検定・大会

- 23(日) 第49回国民珠算競技大会道南地区予選並びに第27回全国小学生珠算競技大会

* 陳情・要望

- 14(金) 情報処理の促進に関する法律に基づく情報処理技術者試験の試験地の指定について(要望)

* 慶弔・その他

- 1(土) 辞令交付
- 2(日) 青森ソウル国際定期航空路線就航記念祝賀会
- 3(月) 函全日本司厨士協会函館支部平成7年度総会後懇親会
- 〃 北海道商工指導センター東函館支部長石橋新函館支部長歓迎迎会
- 〃 函テクノポリス函館技術振興協会牧野研究開発部長退任挨拶、高嶋研究開発部長岡野事務局長新任挨拶
- 〃 北東公庫函館事務所花巻副所長転任挨拶
- 〃 明治生命保険(船山)函館支部長、三田村営業課長、法人営業部鈴木営業課長着任挨拶
- 〃 函館市文化、スポーツ振興財団宮腰専務理事就任挨拶
- 〃 日本団体生命保険(函館)函館営業所長新任挨拶
- 4(火) 国際問題講演会
- 〃 函館公共職業安定所森所長他就任挨拶
- 〃 函館市木下土木部長、弦木土木次長就任挨拶
- 〃 第28普通科連隊長兼函館駐屯地司令村岡一等陸佐着任挨拶
- 5(水) 青森ハバロスク国際定期航空路線就航記念祝賀会
- 〃 運輸省函館空港事務所足立空港長着任挨拶
- 〃 小樽検疫所函館支所高井検疫衛生課長他着任挨拶
- 〃 J R 本社土井非常取締役表敬訪問
- 6(木) 北海道運輸局宗山函館陸運支局長他着任挨拶
- 7(金) 大坪函館営林支局長新任挨拶
- 〃 函館市今消防長、打合消防本部次長就任挨拶
- 〃 ポリテクセンター函館沼田所長他着任挨拶
- 〃 北海道運輸局奥村函館海運支局長就任挨拶
- 10(月) 鉢呂吉雄衆議院議員来所
- 11(火) U H B スーパータイム取材
- 〃 道立函館高等技術専門学院天得副課長他着任挨拶
- 〃 函館市シルバー人材センター清野常務理事退任挨拶
- 12(水) ロシア極東国立総合大学函館校第二期入学式
- 〃 講演会第1回文化発見企画
- 13(木) 漁友の会「海上自衛隊大湊地方総監」五味海将を迎える夕べ
- 14(金) 創立100周年記念事業に伴い道新本社へ挨拶
- 〃 北東公庫原理事、矢原監事就任挨拶、山縣理事、横田監事退任挨拶
- 〃 たくぎん函館支店90周年記念講演会、祝賀会
- 〃 日本団体生命保険(函館)商工会議所共済制度発足25周年
- 〃 全国チャリティーボーリング決勝大会
- 〃 日本開発銀行札幌支店大申企画調査課長新任挨拶
- 〃 函日本旅行北海道川本代表取締役社長他表敬訪問
- 15(土) 函館日仏協会フランス領事を囲む会
- 16(日) 函日本情報処理開発協会平成7年度春期情報処理技術者試験実施の参加
- 20(水) 北海道新聞丸山広告部長新任挨拶、佐藤報道部長転任挨拶
- 21(金) 函館地方法人会青年部会定時総会後の懇親会
- 24(月) 自衛隊協会の函館隊区連合会主催による村岡一佐歓迎会
- 〃 農林水産省五味函館統計事務所長来所
- 〃 日航田代沖繩キャンペーンガール表敬訪問
- 25(火) 札幌テレビ放送(函) S T V ラジオ函館放送局増力記念感謝パーティ
- 〃 新都心五稜郭協議会第27回定期総会後例会懇親会
- 〃 第39回函館圏優良土産品推奨会入賞者表彰式、懇親会
- 26(水) 三井生命保険(函)不動産部角田副部長他来所
- 〃 ホテル花びし別館(函)牛亭披露パーティ
- 28(金) 函館空港運営推進委員会主催による空港長歓迎迎会
- 29(土) 平成7年度福島一函館便初便就航に伴う須賀川市への訪問

依然高水準の出荷が続いている。一方、段ボールの生産は、主力の青果物、加工食品向けが不冴えなため低調に推移した。また、合板は、一部阪神大震災の仮設住宅向けの受注がみられたものの、適正量を大幅に上回る在庫を抱え、なお抑制的な生産を続けている。漁網は、需要の低迷を背景に低水準の生産を余儀なくされている。

(4) 建設関連

3月の管内公共工事請負額は、前年比マイナス44.2%と6か月連続で前年を下回った。もっとも、6年度累計(4月～7/3月)では、高水準の前年度を若干下回る水準に止まった。また、函館市および周辺3町の新設住宅着工戸数(3月)は、持家、貸家とも前年比プラス10.0%と前年を上回り、全体では2か月連続して2桁の伸びを示した。

(5) 漁業

噴火湾ホタテ漁は、生育が順調で水揚げ量が前年を大きく上回っているうえ、原具価格も前年並みを維持していることから、水揚げ金額は前年を上回りほぼ終漁。

(6) 消費関連

3月の市内大型小売店の売上高は、前年比マイナス0.8%と3か月連続して前年を下回ったが、衣料品の落込みが小幅であったほか、食料品の売上が持直したため、前月に比べマイナス幅は縮小した。耐久消費財では、家電販売が、パソコン等情報家電を主体として好調を持続した。また、新車登録台数は、普通

車、小型車とも前年を上回り、全体では前月に続いて前年比プラス14.7%と2桁の伸びを示した。一方、観光・レジャー面をみると、団体客の入込みが減少したため、3月の主要ホテル宿泊客数は3か月連続して前年を下回ったほか、4月入り後も総じて不冴えな状況が続いている。こうした中、ゴールデンウィークの予約状況についても、大方の宿泊施設では盛上りを欠いている。

3.金融事情(3月中)

実質預金をみると、公金預金が税込不足等を背景に低調であったものの、個人預金が定期預金の受入れ増加などにより堅調に推移したため、前年比プラス2.0%と引続き前年を上回った。また貸出をみると、全体としての資金需要は依然盛上りを欠いているものの、一部に金利や建築コストの低下を眺めた小口の更新投資等がみられたため、月末残高は前年比プラス2.6%、月中209億円増と4か月連続で前年を上回った。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は、長期、短期金利とも低下したため、全体では月中マイナス0.040%の低下となった。

銀行券は、月中9億円の発行超と前年とは様変わり。

財政収支は、公共事業の支払い及び運用部貸付の減少を主因に、月中34億円の払超と前年の47億円払超を下回る払超額となった。

データをチェック!

刑法犯認知件数にみる犯罪の推移

～10年間ですりやひったくりが2倍に～

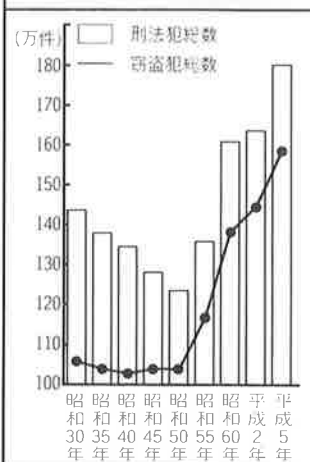
国民生活の豊かさを表すさまざまな指標があります。では、「安全」という分野をみてみましょう。

この分野の指標としてよく利用されるのが、刑法犯認知件数(交通業務上過失を除く)です。

これは、被害の届け出や告発など、事件の発生を警察で認知した数のことをいいます。件数の推移をみると、昭和23、4年の約160万件をピークに、昭和48年には約119万件まで減少してきました。

しかし、その後は増加を続け、平成5年には戦後最高の180万件を突破してしまいました。1日当たりに換算すると4935件、全国の各市区町村で毎日1～2件の事件が起きていることとなります。刑法犯認知件数は、凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯、知能犯、風俗犯に分けられますが、最近特に多くなっている事件は、窃盗犯です。中でもすりやひったくりなど身近な犯罪の増加が目立ち、この10年間で、2倍近くにもなっています。経済的な不安を抱える社会をよく表わしているデータの一つといえます。

刑法犯認知件数の推移



地域の景気

金融経済 概況 3月

(平成7年4月27日)

日本銀行函館支店

1. 概況

管内経済をみると、住宅投資が引続き堅調に推移しているほか、公共投資も頭打ち傾向ながらもなお高水準を維持している。また、個人消費も緩やかな改善傾向が続いている。しかしながら、3月中旬以降の急速な円高の進行等を受けて、企業マインドは先行きに対する不透明感を強めており、高操業を続けている企業においても設備投資や雇用について慎重な姿勢を維持する先が多い。さらに中小下請け筋では、先行きの受注減少や納入単価引下げ等経営環境の悪化を懸念する声も出始めている。

すなわち製造業では、水晶発振器が携帯電話など移動体通信機器の需要増を反映して、またセメントも外需向けを中心に、いずれもフル生産を持続している。半導体もパソコン向けの好調等から主力の4MDRAM、マイコンを中心にほぼフル生産となっている。合板機械、漁業機械も引続き高操業を維持している。この間、造船は修繕船部門、新造船部門がフル生産となっているが、橋梁部門はやや低目の操業に止まっている。一方、水産加工品の売上は、生鮮珍味は引続き順調ながら、乾燥珍味が低調に推移したため、全体では前年を下回った。また、水産加工機械の売上は依然低迷を余儀なくされている。

非製造業をみると、3月の市内大型小売店の売上は、小幅ながら3か月連続して前年を下回ったが、家電販売は、パソコン等情報家電を中心に好調を持続している。また3月の新車登録台数も、2か月連続して大幅な伸びを示した。一方、観光動向をみると、依然として団体客の入込みが減少しており、宿泊施設、観光施設とも利用客数が前年を下回ったほか、ゴールデンウィークの予約状況も盛上

がりを欠いている。

漁業では、噴火湾ホタテ漁が、順調な水揚げが続く中、ほぼ終漁。

3月の金融動向をみると、預金は個人預金を中心に引続き堅調な推移となった。また貸出は、4か月連続で前年を上回って推移した。

この間、管内銀行の貸出約定平均金利は引続き低下した。

なお、日本銀行は、為替相場的一段の円高化や株価等資産価格の軟調持続等の下で先行き回復基調の持続が懸念される状況になってきたことに鑑み、3月31日、短期市場金利の低下を促すこととし、続いて4月14日、公定歩合を0.75% (1.75%→1.0%)引下げることが決定し、即日実施した。

2. 主要業種別動向

(1) 機械、電子部品

水晶発振器は携帯電話など移動体通信機器の国内外における需要拡大を反映して、下請けを含めフル生産を持続している。半導体もパソコン向け需要の好調に加え、ゲーム向け等非パソコン向け需要の増加もあり、主力の4MDRAM、マイコンを中心にほぼフル生産を続けている。また、合板機械は針葉樹対応機械など豊富な受注残消化のため、漁業機械はイカ釣り船向けの需要好調を受けて、いずれも高操業を続けている。造船では、官庁船需要が好調な修繕船部門や豊富な受注残を抱える新造船部門がフル操業状態にある。これに対し橋梁部門は、現在のところやや低目の生産に止まっているが、受注面では阪神大震災復興関連を中心に増加に転じている。一方、水産加工機械の売上は、中小水産加工業者の設備投資抑制姿勢に変化が窺われず、受注案件も総じて小口化の傾向にあるため依然低調に推移しており、製缶機械の生産も低水準に止まっている。

(2) 食料品

水産加工品の売上は、生鮮珍味では惣菜向け低価格品を中心に順調に推移しているが、乾燥珍味が末端需要の不冴えから低調となっているため、全体では前年を幾分下回る売上となっている。魚油は国内外における油脂需要の好調を背景に、順調な生産・売上を持続しており、このところの円高を眺め、先行き輸入魚油の依存度を引上げる方向にある。

(3) その他製造業

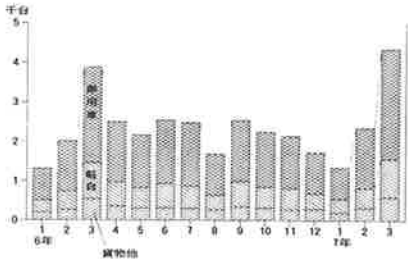
セメントは、東南アジアを中心とした外需の好調に加え、官公需の堅調持続もあってフル生産を持続している。生コンは、一部地域で災害復旧関連工事向けが剥落しつつあるが、奥尻島での防潮堤建設工事向けなどを中心に

②新車登録台数

第4四半期の管内新車登録台数は、8,051台で前年同期に比べ11.7%増加している。

車種別では乗用自動車が5,110台で同13.4%増加、貨物・その他が1,127台で、同11.1%の増加、軽自動車が1,814台で同7.8%の増加といずれも好調裡に推移している。

＜図-3 新車登録台数＞

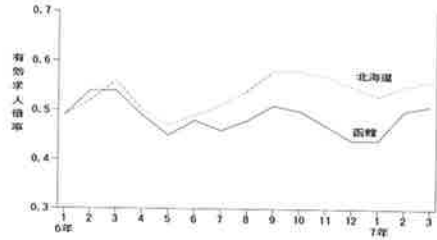


4. 雇用情勢

第4四半期の函館職業安定所管内の雇用情勢は、月平均有効求職者数が7,520人で前年同期に比べ0.6%の増加、月平均有効求人数は3,657人で同7.1%減少し、有効求人倍率は前年同期を0.02ポイント上回る0.49倍となった。また、新規求人数は4,862人で同3.1

%減少している。(パートの常用分含む)

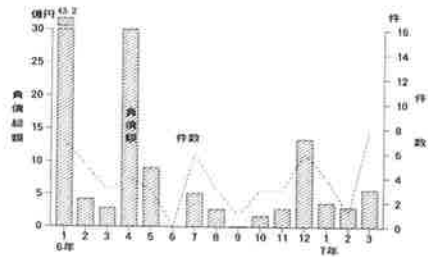
＜図-4 雇用情勢＞



5. 企業倒産状況

第4四半期の管内企業倒産は、13件で前年同期より2件減少、負債総額が12億4,300万円で、同75.3%の減少と、比較的安定して推移しているが、販売不振等の原因による不況型倒産が多くなっている。(負債額1,000万円以上、内整理を含む)

＜図-5 企業倒産状況＞



函館市内、第一種大規模小売店舗売上高<10店>

(平成7年3月)

品名	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣料品	3,137,058	97.6	147.5
身の回り品	764,116	96.0	150.8
雑貨	887,875	97.9	122.9
家庭用品	705,892	95.5	147.3
食料品	1,887,245	96.5	113.8
食堂・喫茶	163,560	97.5	130.1
サビス	71,962	96.9	114.1
その他	578,795	92.5	160.1
総計	8,196,503	96.7	135.6

<10店>棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ダイエー五稜郭、
 テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ダイエー湯川店の各店

統計資料

函館地域の 経済動向

平成6年度 第4四半期

平成6年度第4四半期の函館地域の経済動向は、公共工事が引き続き順調な進捗を見せ、住宅着工も好調裡に推移。生産活動でも業種によるバラツキは見られるものの、総じて堅調に推移している模様。一方、個人消費面では大型小売店販売の低迷が続いているが、乗用車販売では好調な伸びを見せるなど一進一退の状況となっており、総体では緩やかな回復傾向となっているものの、阪神大震災や急激な円高等の影響も懸念され、未だ不透明な状況が続いている。

1. 公共事業発注状況

平成6年度（平成6年4月～7年3月の発注累計）の管内公共関連工事総体の発注額は、1,209億4,100万円で前年度に比較して121億800万円、9.1%減少したが、前年度増大した災害復旧関連工事が減少したことによるもので、総じて堅調に推移している。

機関別にみると、函館開発建設部が発注額526億2,500万円で、前年同期に比べ171億900万円、24.5%と大幅に下回ったが、函館土木現業所では発注額458億1,400万円で、前年度に比べ42億2,900万円、10.2%増加しており、空港等事業の発注が増加している。また、函館市では発注額が225億200万円で、同7億7,200万円、3.6%上回っている。

2. 建築着工状況

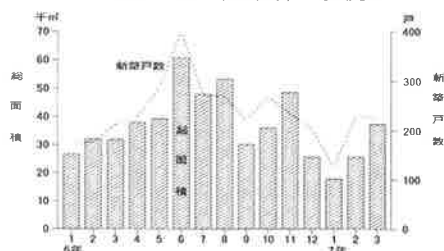
第4四半期の函館市内建築着工状況は、建築物床面積合計が80,851㎡で前年同期に比べ

10.4%減少したが、うち住宅部分床面積については59,998㎡で同3.0%増加している。

また、住宅総戸数は627戸で同5.2%増加しており、うち新築住宅が583戸で同3.4%の増加、増改築は44戸で同37.5%の増加となった。

新築住宅戸数の内訳をみると、持ち家269戸（同4.3%増）、貸家181戸（同26.1%減）、分譲・その他133戸（同118.0%増）となっている。

＜図-1 建築着工状況＞



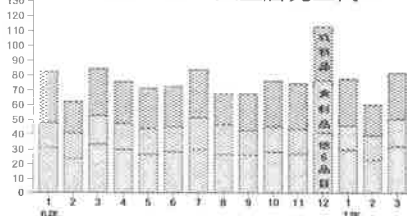
3. 個人消費

① 大型店売上高

第4四半期の市内第一種大型店売上高は、総額で220億3,563万円で、前年同期に比べて4.1%の減少と、平成4年度第3四半期から10期連続で前年同期比割れとなった。

品目別では主力の衣料品が84億5,419万円で同4.7%の減少と低迷が続いており、前期（10～12月期）に久方ぶりに前年同期比増となった食料品でも52億241万円で、同2.8%の減少と再び前年同期比割れとなった。以下身の回り品が20億4,424万円、同5.6%減、雑貨23億6,150万円、同2.9%減、家庭用品17億9,247万円、同6.1%減といずれも停滞している。（ニトリ家具を除く10店舗、消費税分除く）

＜図-2 大型店売上高＞



6. 海外旅行へ行ってみたい国・地域について
東南アジアの9カ国に絞って再度回答を求めたところ

1位「シンガポール」、2位「中国」、3位「香港」となっており、この3カ国に全体の70%以上の回答が集中している。

表-2 海外旅行へ行ってみたい国・地域
(東南アジア)

順位	国名(地域)	得点
1	シンガポール	406
2	中国	255
3	香港	209
4	マレーシア	70
5	インドネシア	68

7. 函館空港と直行便で結んでほしい海外
の国・地域について

将来的に、函館空港の国際便として結んでほしい相手先については、

1位「アメリカ」、2位「中国」、3位「オーストラリア」と続いている。

区分別でみると、女性は「ハワイ」、中高年齢層で「中国」の人气が高くなっている。行ってみたい海外の国・地域に比べると、近隣諸国の回答が多いのが特徴となっている。

表-3 函館空港と直行便で結んでほしい
国・地域

順位	国名(地域)	得点
1	アメリカ	1,090
2	中国	942
3	オーストラリア	880
4	ハワイ	686
5	シンガポール	410

8. 函館空港と直行便で結んでほしい国・
地域(東南アジアを中心とする)につ
いて将来的に、函館空港の国際便とし
て結んで欲しい東南アジアの相手先
については

1位「シンガポール」、2位「中国」、3位「香港」と続いている。

1位から3位の回答で70%以上を占めており、区分別でみると「女性」および「10歳代20歳代」の若年層で「香港」の人气が高くなっている。

9. 函館空港と直行便で結んでほしい国内
の都市について

今後函館空港と直行便で結んでほしい国内の都市の、1位は、「沖縄」で全区分で1位希望を示すなど圧倒的な人気を占めている。

以下、2位「長崎」、3位「小松」、4位「仙台」、5位「広島」と続いている。上位10カ所のうち、九州、四国地区が四カ所入っており「南」志向の強さが伺える。

以上のように今回の調査は、道南地域住民の海外旅行へも関心が高い事が明らかになり、又、今後の国際定期便の就航にも大きな期待を持っている事が判りました。

本所としては、東南アジア地域との国際定期便の就航について官民一体となって今後とも要望活動を展開していくほか、今年も予定されている函館空港からのチャーター便へも積極的に協力し、国際交流と地域活性化に取り組んでまいります。

海産物・土産品卸

- 生珍味(手造り塩辛、子宝漬、松前漬、他)
- 筋子、新巻鮭、数の子
- 海藻類(昆布、わかめ、とろろ昆布)
- 乾燥珍味(貝柱、するめ、さきいか、他)

〈全国推奨観光品審査会各賞受賞〉 〈全国観光土産品連盟推奨品各種〉

株式
会社



渡邊商店

本店 函館市東川町9-15 ☎代表0138(22)4165 FAX0138(22)6664
支店 札幌市東区北20条東2丁目 ☎代表011(721)9131 FAX011(721)9133

海外旅行需要に対する 住民意識アンケート 調査結果報告

本所に事務局をおく国際チャーター便就航推進連絡協議会（会長／西野 鷹志）では渡島松山地域の住民アンケート調査を実施し、この程 海外旅行需要動向の結果をまとめました。

本調査は、道南地域の活性化と国際化にとって必要な航空路線網の整備拡充を進展させるための基礎資料であり、みなみ北海道広域商工振興連絡協議会（渡島、松山2商工会議所27商工会・会長／松本 演之本所会頭）の協力のもとに実施されました。

ユジノ線に次ぐ函館空港からの国際定期路線開設が期待されるなか、回収状況は、函館市内 711名、渡島支庁管内 467名、松山支庁管内 446名の計1、624人から回答がよせられました。

（調査結果概要）

1. パスポート所有状況について

現在パスポートを「持っている」42.3%

「持っていない」57.7%

今はもっていないが、過去に習得したことがあると回答した割合は 42.3%となっている。

性別では「男性」、年齢別では「30歳代」住所別では「函館市内」で所有割合が他に比べて高くなっている。

2. 海外旅行の有無について

これまでに海外旅行経験が

「あり」 60.6%

「なし」 39.4%

性別では「男性」、年齢別では「30歳代」住所別では「函館市内」で海外旅行経験が「あり」とする回答割合が高くなっている。

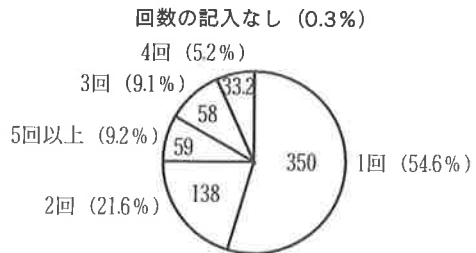
3. 2の設問の「あり」のうちこれまでにを行った海外旅行の回数

「1回」 54.6%

「2回」 21.6%

「3回」 9.1%

「1回」または「2回」と回答した人で76.2%
「1回」から「3回」と回答した人で85.3%を占めている。



4. 今後の海外旅行の希望について

今後の海外旅行へ

「行ってみたい」 76.7%

「特に行きたくない」 23.3%

性別では「女性」、住所別では「函館市内」で海外旅行の希望が高くなっている。

「10歳代」から「30歳代」では80%を超す高率を示している。

また、海外旅行の経験がある人では86.9%とリピート希望が高くなっている。

5. 海外旅行へ行ってみいたい国・地域について

前問で、海外旅行へ行ってみたいと回答した人にたいし、希望する国・地域を順に3つ以内で回答を求めたところ

1位「オーストラリア」、2位「アメリカ」、3位「ヨーロッパ」（国名の指定なし）と、人気観光地が続いている。

※以下1位3点；2位；3位；1点の得点方式により、総得点で順位を決定している。

表-1 海外旅行へ行ってみいたい国・地域

順位	国名（地域）	得点
1	オーストラリア	1,172
2	アメリカ	863
3	ヨーロッパ	644
4	ハワイ	571
5	中国	411